

中国・株洲ダイヤモンド工具 工場視察ツアー報告

千葉営業所 アシスタントマネージャー
古橋 善仁

2014年9月6日(土)から9月9日(火)まで、御客様含め総勢20名にて中国超硬工具トップメーカーの株洲ダイヤモンド工具工場視察、技術交流会に参加して参りました。

今回のツアーは、沢山の御客様に参加頂きましたので、御客様の意見を中心にメーカーの現状を含め報告とさせていただきます。

【1】工場見学

①チップ生産工場

ヨーロッパ製研削盤、プレス盤が多数並んでおり、自動化レベルが高い工場となります。

②ソリッド・エンドミル工場

輸入工具研削盤、放電加工機が多数あり、こちらも自動化レベルが高い工場となります。

両工場共に、国内メーカーと比較しても遜色ない量産工場となります。

【2】技術交流会／質疑応答

①製品合格率

・チップ 95～98%、エンドミル 98～98.5%

②生産量／月生産

・チップ 400万枚、エンドミル 40～45万本

③生産特徴

・材料一貫生産、グループにてタングステン材料掘削、コーティング内製が特徴

④エンドミル・GMシリーズ公差

・0～0.040公差品2～3本発生有り、規格変更の無い生産状況となりますが、生産ロットチェックは可能となります。又、品質改善として材料システムを確立予定となります。

⑤エンドミル破損対策

・親会社より新材料購入予定があります。
又、材料改善を本年のテーマとしております。

⑥難削材加工工具開発

・競合メーカー対抗にて、新商品開発中となります。

⑦ダイヤモンド砥石管理

・使用砥石2社、中国・日本製を使用しております。又、標準研磨はドレッシング回数管理をしております。

⑧ボールエンドミル精度管理

・ZOLLERにて精度管理をしております。

⑨価格改定

・過去8年価格改定はありません、但し経済状況に影響される点が多い内容となります。

⑩新商品紹介

・カッター、ねじ切りチップ、鋳物用チップ YBD152、エンドミル PML シリーズ、HMX シリーズ、タップ等を紹介させて頂きました。

【3】今後の展開

①日本市場開拓

・現状、ヨーロッパ・北米向けが好調であるが、日本市場の更なる開拓意向となります。

②売上目標

・25億元が5年内の目標となります。

【4】御客様の感想

①指摘事項

・在庫保有、品質安定、検査強化・画像測定取込検討、カタログ日本語版発行等

②評価

・コストメリットが有り、工具費削減＝ニーズに合う、新商品の早期日本販売を御願いたい意向がありました。

【5】ツアーを振り返って

『中国製＝安いけど、品質が…』というイメージがまだ強いのですが、日本メーカーに負けない品質と低価格が魅力です。中国工具メーカーを『食わず嫌い』だった御客様も多いのですが、現在は多くの御客様に評価頂き使用頂いております。

まずは、株洲ダイヤモンド工具を知って頂き、使って頂く事に尽きると考えております。